

平成 29 年度技術試験事務成果報告書の概要

案件名	無線設備の適合性評価における試験方法等に関する技術試験
契約先	一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター

1 目的及び成果目標

特定無線設備の技術基準適合証明等における試験方法や発射する電波が著しく微弱な無線局の電界強度の測定方法について、近年の無線設備・測定器等の状況や今後の動向等を踏まえて所要の見直しを行うことで、無線設備の適合性評価を適正化し、技術基準に適合しない無線設備の流通を防止することにより、周波数の共同利用を促進する。

2 試験実施概要

特定無線設備の技術基準適合証明等における試験方法に関して、技術基準の変化を調査の上、試験方法見直しの必要性等を検討した。

また、発射する電波が著しく微弱な無線局の電界強度の測定方法に関して、海外の基準・規格の調査及び各基準等に基づく電界強度の測定等について検討した。

3 得られた成果**特定無線設備の技術基準適合証明等における試験方法の調査検討**

近年の技術基準の制定・改正内容等を調査した結果、総務省告示第 88 号に試験方法を新たに規定することが望ましい特定無線設備が 27 種別、試験方法の見直しが望ましい特定無線設備が 19 種別あることを明らかにした上で、無線設備の普及状況等を踏まえて、試験方法見直しの優先順位付けをおこなった。

発射する電波が著しく微弱な無線局の電界強度の測定方法の調査検討

電界強度の測定に関連する海外の基準・規格について調査し、告示第 127 号で定める測定方法と比較を行った。その結果、海外の基準・規格では再現性の確保の観点から機器の配置やケーブルの配線方法等の条件が詳細に規定されていることを把握した。

上記の調査結果を踏まえ、測定条件を様々に変えつつ、微弱無線機器の電界強度を測定し、測定結果を比較・評価した。その結果、微弱無線機器に接続されるケーブルの配置・配線の処理方法により、大きく電界強度の値が変わることを確認した。

お問い合わせ先	総務省総合通信基盤局電波部電波環境課技術管理係 電話：03-5253-5905（直通）
---------	--